



青山学院中等部

Aoyama Gakuin Junior High School

青山学院高中部の教育理念

本校は、青山学院教育方針にもとづいて、ひとりひとりの生徒の人格を育み、その自己実現を支える。また、与えられた自分の力を他者のためにも使い、隣人と共に生きることを喜び、平和な社会に貢献する人間の育成を目指す。

中等部の教育目標

1. 礼拝と聖書の学びを通して、神をおそれ人を大切にすることを育てる。
2. 基礎学力をしっかりと身につけさせると同時に、個性を尊重してひとりひとりの可能性を引き出し、自主性を育てる。
3. 学校生活の諸活動を通して、知性と感性と体力を育てる。
4. 内外の奉仕活動を通して、互いを思いやる気持ちを育てる。

明るく伸びやかな校風の中で人格を磨き 自立した人間としてのベースを作る

大学までの一貫教育の中学段階として、知識の習得を目指すと共に、生徒の向学心に応じたフレキシブルな教育を展開しています。またキリスト教信仰を通じた人間教育を重視。毎日の礼拝のほか、聖書の授業やキリスト教関係行事と併せて、バランスのとれた人間形成を目指したカリキュラムを編成しています。

1クラス32名、1学年8クラス制とし、外国人教師による英語や、習熟度別クラス制の数学のほか各教科では、基礎学力の充実と共に考える力を身につけ、一人ひとりの個性を伸ばす教育を推し進めています。

3年生が履修する選択授業も、中等部の大きな特色の一つです。この授業は必修授業における各生徒の到達度、習熟度、また生徒各自の関心に応じた学習活動を実現するもので、従来の科目の枠にとらわれずに、暗号や俳句、AIなどユニークな講座を毎年25講座前後開講しており、生徒は希望の講座を週2時間選択し、自主的に学ぶことができます。

主体的な学びの意識を作る「教科センター方式」の校舎

一番の特徴は、「教科センター方式」の採用です。地下1階、地上6階の校舎は、教科ごとにフロアを分け、それぞれ専用教室を設けました。その横のホームベースというスペースが従来の教室ですが、この教室も固定ではなく、生徒は自分の時間割に従って、目的の教室に移動します。

各フロアには、メディアスペースと呼ばれるオープンスペースが設けられ、教科の特徴を生かした展示がされています。回廊式の校舎で、生徒は移動しながら様々な教科に関する展示や学年の違う生徒の作品を目にして、知的な刺激を受けます。校舎の空間すべてが学びの場であり、感性に訴える種まきの場所です。校内はWi-Fiが整備され、電子黒板も設置されており、プレゼンテーションや協同学習にも対応できる環境を用意しています。2021年度入学生からは1人1台のタブレットを持って授業に臨みます。メディアセンターは、図書館としての機能を持った知のハブとなり、各教科のメディアスペースと連携しながら、探求型の学びを深める役割を担います。

中等部は、知識を詰め込むだけの教育ではなく、このような環境が整うことで、対話型の授業が行いやすくなり、教員も更に授業を発展させることができます。「待つ授業」から、主体的に生徒自らが「向かう授業」に変わることで、生徒もより能動的になっています。



学校生活を通して養われる自主性、感性、行動力



学校行事を重視し、学校生活全体を通して自主性、感性、行動力を育てています。宿泊行事として、2年生は裏磐梯でのキャンプ、3年生は沖縄旅行を実施しています。裏磐梯キャンプでは、自然あふれる環境の中、友人たちと共に生きることを意味を知り、仲間との絆を深めます。沖縄旅行は平和教育の一環として行い、沖縄戦の史実と沖縄の置かれている基地問題の現実から戦争についての認識を深めて平和について考える機会としています。各自が学んだ成果は旅行後にまとめられ、中等部祭などで発表しています。

クラブ活動

クラブは週2日活動をし、2つ以上のクラブに参加している生徒もいます。

文化部

科学部/家庭部/茶道部/吹奏楽部/箏曲部/創作漫画部/ハンドベル部/アートクラブ/放送部/マイコン部/演劇部/その他同好会

運動部

剣道部/サッカー部/女子テニス部/女子バスケットボール部/バレーボール部/水泳部/卓球部/男子テニス部/男子バスケットボール部/チアダンス部/バドミントン部/ハンドボール部/野球部/ラグビー部/陸上部/その他同好会